

## 初期研修 地域医療研修 目標と具体的行動 (2020 年度)

\* 注意事項：初期研修が診た後は、必ず指導医がフォローする

### 【渡辺病院の目標】

・ 主治医として入院判断、入院診療、退院支援、退院後の外来診療までの一貫した継続性のある診療を行う

(総合外来)

・ 頻度の高い症候・病態について適切な臨床推論プロセスを経て診断・治療を行える (?)

・ 主な慢性疾患（高血圧、糖尿病等）については継続診療ができる。

(病棟診療)

・ 多職種や地域の介護サービス提供者、行政担当者等と関わりながら、退院に向けてのマネジメントを行う

・ 終末期の患者を担当し、ACP を実践する（緩和ケアチームに参加する (?)）

・ 療養病棟に入院する患者を理解する

(救急初期対応)

・ 内科・外科問わずあらゆる救急の初期対応を行い、緊急性を判断できる

・ 転院搬送の判断ができ、適切にコンサルテーションできる

(手技)

・ 上部消化管内視鏡、エコー検査手技を修得でき

・ 救急初期対応に必要な外科的手技（縫合、創傷処置）を修得できる

### 【具体的行動目標】

(外来、救急)

・ 総合外来初診を担当する（週 3 回程度）

・ 救急外来の対応（転院については指導医と相談。紹介先病院との交渉も責任は指導医）

・ 当直（週 1 回、指導医と共に）

・ 新見市の休日当番日（月 1 回日曜日直）を指導医と共に行う

・ 転院搬送の同乗

・ 指導医とともに訪問診療に行く

(病棟)

・ 副主治医となり、主体的に診療する

・ 多職種カンファレンスへの参加

・ 担当者会議への参加

・ 緩和ケアカンファレンスへの参加

・ 担当患者のリハビリ、外出リハビリに参加

・ 家族への IC（正式な場合は指導医と同席）

(手技)

- ・ 上部消化管内視鏡（火～金担当者が指導）
- ・ 腹部エコー
- ・ 外傷処置
- ・ 胃瘻造設、ボタン交換（指導医と共に）
- ・ CV カテーテル挿入（指導医と共に）
- ・ 手術（指導医と共に）

(院外研修)

- ・ 湯川診療所（月 1 回以上 月曜日）
- ・ 老健施設の見学（1 回以上）
- ・ 訪問看護の見学（1 回以上）
- ・ 救急車同乗実習（1 回以上）

(学術活動)

- ・ 月 1 回抄読会を担当

(評価)

- ・ 原則毎日夕方、指導医と共に振り返りを行う
- ・ 研修の最終日に多職種とともに振り返りを行う（360 度評価）